

令和5年

3月号

No.641

今月
の
ご法話

怒らないことが長生きの秘訣

法音

日蓮宗
法音寺



勇猛精進

堪忍 かん にん

全てのことに「はい」と言おう

堪忍でできる

全てのことに感謝しよう

堪忍でできる

全てのことを喜ぼう

堪忍でできる

続ければ仏になれる

月刊・法音 令和5年3月号 No.641 目次

【信仰の指針】寛恕 かんじよ 広い心を持ちましょう 自分の為です 1

【朝のこない夜はない】

怒らないことが長生きの秘訣 山首 鈴木正修 2

◆春のお彼岸です

◆有縁の支院・布教所にて、ご自由にご参詣ください

◆青少年育成道場のお知らせ

◆仏教漫画『日蓮さま』・『立正安国論』

◆立正安国論

◆お寺の本棚

◆常寂光土への誘い(8)

◆やさしい仏教

◆のりのね体験

◆支院だより

◆法音寺は「信仰と福祉のお寺」です

◆福祉のひろば

○幸せのお手伝い

○昭徳会・のぞみホーム泊旅行「南知多に行こう！」

○日本福祉大学 日本福祉大学初ラクロスソフトボール選手が誕生しました

◆賛助員ご芳名

◆幸せの種まき／編集後記

◆連載まんが・ひまわり・122 大王さまとの約束

◆法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字 山首上人さま書

掲載写真 表紙・信仰の指針

3～15頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・梅

信仰の指針

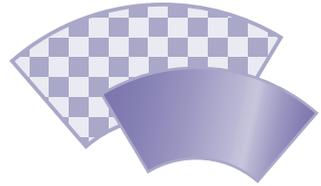
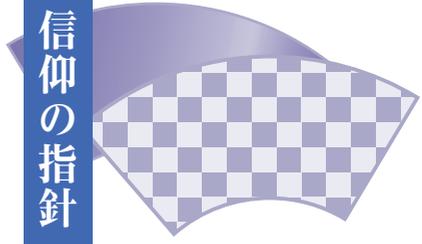
か
ん
じ
よ

寛恕

広い心を持ちましょう

自分の為です

日教五



うめもどき



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

怒らないことが長生きの秘訣

昨年末に経済番組を観ていましたら、例年のように令和5年のいろいろな経済予想をしていました。その中で二人の個人投資家が出てきました。一人は「令和4年は予想が外れて大損しました」と言っていました。もう一人は「例年通り儲けました」と言いました。かなりの金額を儲けたようです。その二人に「令和5年はどうなりますか？」と聞くと、損した方の人は「来年は必ずこうなるはずですよ。そこで今年の分を挽回しますよ」と言い、例年通り儲けた人は「私は予想しません」と言うのです。「人生には上り坂、下り坂、まさかがあります。経済も同じです。何が起



こつても対処たいしょできるような心構こころがまえで、資金しきんを蓄たくわえて、何かなに起こおった時には迅速じんそくに的確てきかくに対応たいおうするだけです。それで私わたしは成功せいこうしてきました」と続けつづけました。

それを聞いた時ときに、我々われわれにも活かせる話はなしだな〴〵と思おもいました。本当に「まさか」はあります。昨年さくねん9月に私わたしの家内かないが突然とつぜん亡なくなりました。本当に「まさか」でした。そういうことことが人生じんせいにはあるのです。そういう時ときに動どうじない心こころを作るつくのが常日頃つねひごろからの三徳さんとくの修養しゅうようです。平時へいじにはわかりませんが、事ことが起おこった時ときに修養しゅうようの度合どあいがわかるのです。

古来こらいより『疾風しつぷうに勁草けいそうを知る』という言葉ことばがあります。勁けいは強つよいという意味いみで、強つよい風かぜが吹ふいた時ときに倒たおれない草くさが見分みわけられる。つまり「困難こんなんや試練しれんに直面ちよくめんした時ときに、初めはじめてその人ひとの意志いしの強つよさ、ひいては人間にんげんとしての値打ねうちがわ



かる」ということです。勁草になりたいたいものです。

また、よく世間の人々は「まさか」のために、生命保険に入ったたり、損害保険に入ったたり、いろいろな保険に入ります。保険も確かに大事ですが、一番大事なのは天の銀行に徳の貯金をすることです。この徳の蓄えが、いざという時に最大の力を発揮してくれるのです。

今年の御法推進目標は「勇猛精進」です。実行目標が「堪忍」です。皆さん、耳にタコができるほど堪忍の話を聞いておられると思います。昔から法音寺では「ならぬ堪忍するが堪忍」と言い慣わしているように、堪忍は日常の大事な徳目です。御開山上人が入信間もないお若い頃に、杉山先生から「まず半日堪忍をしなさい」と言われたそう



です。確かに一日は長いです。本当に実行しようと思うと
堪忍は一日でもむずかしいものです。だから「まず半日か
ら」と言われたのだと思います。

何もない時は誰でも堪忍ができるものです。しかし一旦、
心が乱れると堪忍が破れてしまいます。

腹が立つ時には人それぞれのパターンがあります。自分
分はこういう時に怒ってしまうぐというのがあると思いま
す。その時にぐここだな。ここが自分の堪忍の破れるとこ
ろだなぐと予め自覚をして、堪忍ができるとういと思いま
す。

この話は新渡戸稲造博士の『世渡りの道』という本の中
にあります。新渡戸博士は子どもの頃から一生懸命、堪忍
をしようと努力されたそうです。その中で効果があった話



を本ほんの中で書かいておられました。特とくに効果こうかがあったのは日記にっをつけることだと言いわれます。夜よる、寝ねる前に日記にっを書かく。その中なかで「自分じぶんは今日きょう、こういう時ときに怒おこりそうになった。怒おこってしまった」ということを日記にっにつけると、自分じぶんはこういう時ときに怒おこりそうになるんだな。怒おこるんだな。ここだな」というのがわかるようになる。そうするとだんだん怒おこらなくなってくる。怒おこる回数かいすうが減へってくる。晩年ばんねんその日記にっを見返みかえされ、自分じぶんも少しは堪忍かんにんづよ強つよくなったな」と述懐じゆっかいされたそうです。そういう中なかで「堪忍かんにんは治療薬ちりょうやくより予防薬よぼうやくだ」とも言いわれています。怒おこってから、いけなかった」と思おもったり、人ひとに対して「ごめんなさい」と言いうよりも、朝あさ、布団ふとんから出る前まえに、今日きょうは絶対怒ぜつたいおこるまい。愚痴ぐちを言いうまい。人の悪口わるぐちを言いうまい」と誓ちかって出でるとすぐに、あ、ここだ



なぐとわかって、怒ることが少なくなるのだそうです。

新渡戸博士はキリスト教徒でした。聖書を読んだ時に、

しばしば“Be of good cheer.”（愉快な顔をせよ）と

いう句に出会ったと言います。その後、注釈書を読んだ時

に、聖書全体を通じてこの句が40回も登場することを知り

ました。そして、新約聖書にも旧約聖書にも不愉快な時、

苦難に遭った時、病気になる時、貧乏で苦しむ時、ある

いは罪のために苦しむ時、そこにこの言葉が繰り返されて

いたと言います。苦しい時ほど笑顔でいなさいと聖書

は教えているのです。新渡戸博士は、これが本当の堪忍だ

と思われたそうです。本当に苦しい時、人に愚痴を言いた

いものです。泣き言を言いたいものです。そういう時こそ

ぐっと堪えて笑顔でいる。これが本物の堪忍だと知ってか



ら新渡戸博士は生涯『Be of good cheer』を続けられたという事です。

お釈迦さまは貪・瞋・痴の三毒の中で「瞋」、怒ることが一番良くないとおっしゃっています。

仏遺教経の中に「忍の徳たること、持戒苦行も及ぶ能わざる所なり」とあります。堪忍による功德はいろいろな戒律を守るよりも、水をかぶったり、火の上を歩いたり、断食をしたりというような苦行をするよりも、ずっと偉大なものだということなんです。そして「能く忍を行ずる者は、乃ち名けて有力の大人と為す可し（堪忍できる人は大人物である）」とあります。その後「当に知るべし、瞋心は猛火よりも甚だし。常に当に防護して入ることを得しむるこ



と無かるべし。功德を劫むる賊は瞋恚に過ぎたるは無し」とあります。怒りは猛火が家屋や家財をすべて焼き尽くすように、それまで修めた功德を台無しにしてしまうということです。

『大智度論』という仏教哲学書の中に、法華経の中で初めて成仏できると授記された舍利弗が、はるか昔の前世に一生懸命、菩薩として、布施の修行をしていた時の話があります。この舍利弗がある日、乞眼婆羅門と呼ばれる婆羅門に出会いました。舍利弗に対して乞眼婆羅門はいきなり「お前の肉眼を布施してくれ」と言うのです。舍利弗が「私の肉眼をお前にやっても、何の役にも立つまい。なぜそんなものを求めるのだ。もし他の物ならお金でも品物で



も何でも布施しよう。その方がお前のためになるだろう」と言いですが、乞眼婆羅門は「金品は何もいらぬ。ただお前の肉眼が欲しいのだ。お前が本当に布施を実行しているのならば、肉眼であっても布施するべきではないか」と言って聞き入れません。そこで舍利弗は自分の一眼をえぐり出して、その婆羅門に与えました。婆羅門は受け取った血だらけの眼を鼻に近付けて臭いを嗅ぎ、「臭いなあ」と言って捨ててしまい、あろうことか、足で踏みつけ潰してしまいました。それを見て、長い間修行を積んだ菩薩の舍利弗もカッとなり、「何をするんだ」と怒ってしまいました。その途端に長い長い修行の末に重ねた功德が一瞬にして消え去ってしまい、菩薩から小乗の低い位に落ちてしまったという話です。これはもちろん一つの寓話ですが、そ



れほど堪忍かんにんの修行しゆぎやうはむずかしいということですよ。

『笑わらっていいとも』という超長寿番組ちやうちやうじゆばんぐみがあったのを皆さん覚えておられると思います。私はあの超長寿ちやうちやうじゆの大きな理由りゆうは司会しかいのタモリさんの性格せいかくだったと思おもっています。

タモリさんが『笑わらっていいとも』に出演しゅつえんしていた当時に別荘べつそうを買かった時の話はなしです。その別荘べつそうの庭にわに大きな太い木ふと きが何本なんぼんもあり、その木きが気きに入いって別荘べつそうを買かったそうです。タモリさんは共演者きやうえんしやの笑福亭鶴瓶しやうふくてい つるべさんを「一度、見みに来こない？別荘べつそうもいいのだけれど、木きがいいんだよ」と誘さそったのです。忙しい二人ふたりがスケジュールを合あわせてその別荘べつそうに行いきました。タモリさんは予め別荘べつそうの管理人かんにんさんに「木きを切きっておいて」と剪定せんていをお願ねがいしておきました。別荘べつそうに到着とうちやく



すると、何と木が全部、切り倒してあったのです。二人は
呆然としたそうです。その後、タモリさんは「あっ、切っ
ちやっただ」ただけ言ったそうです。鶴瓶さんが「タモ
リさん、怒らないんですか」と言うと、「僕の言い方が悪
かったんだね。『剪定しておいて』と言ったつもりだった
んだけど、しようがないね」と全く怒らなかつたそうです。
聖路加国際病院の名誉院長で105歳の天寿を全うされ
た日野原重明先生は、長生きを目標にされたことはなかつ
たそうです。しかし、心を健やかに保つための努力は日々
されていたそうです。その一つが「怒す勇気を持つ」とい
うことです。

先生は、一般によく使われる「許す」や「赦す」ではな
く、「怒す」という漢字にゆるすという本質的な意味を感



じておられました。この漢字は、「心」の上に「如」という文字が載っています。つまり、ゆるすとは誰かに許可を出すとか、悪いことを赦すということではなく、「相手のことを自分の如く思う心」という意味だと考えておられたのです。

日野原先生は語っておられます。

「ゆるすのは相手のためではなく、自分のための行為なのです。ゆるせない心を持ち続けるのはしんどいことです。だからゆるすことで、私達は楽になれるのです」

タモリさんも日野原先生も本物の堪忍の人だと思います。「ゆるす勇氣を持つ」、見習いたいものです。



春のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山は

3月21日(火・祝)午前11時から

春季彼岸会の法要が行われます。

皆さまのご参詣をお待ちしています。

◆今月の山首上人さまご親修日程

上野支院	3月1日(水)	佐屋支院	3月4日(土)
大阪支院	3月12日(日)	関支院	3月19日(日)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	5日・12日・25日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	5日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・25日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・12日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0568)72-7208
一宮支院	5日・12日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・19日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・12日・19日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・18日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・26日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・19日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

☎連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・21日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	5日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	12日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	5日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	11日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	5日・7日・21日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	5日・19日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	11日・26日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	4日・19日・26日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	5日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	5日・15日・19日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)441-5445
筑後布教所	12日・26日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	12日・26日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・21日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	13日・26日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

第51回

青少年育成道場

日時 令和5年3月26日(日)

午前8時～午後3時

対象 15歳～35歳

(どなたでも参加できます)

参加費 2000円

(納経帳に充てさせていただきます)



主なプログラム

【ご法話】 山首上人さまのご法話を拝聴できます！

【写経】 荘厳な大本堂での写経を体験できます！

【体験談】 同世代の貴重な体験を聴けます！

【読経練習】 お経の解説を含めて、学べます！



お申し込み・お問い合わせ 各支院／布教所まで

青少年育成委員会

立正安国論

撰客來嘆曰自近年至

天庭地又飢饉疫癘滿

下庶流離上馬馭苑卷

充歎心之止既起大半不

後敢死入外司專利切即

是言曰成主之

病願東方

我作病即法不老不死

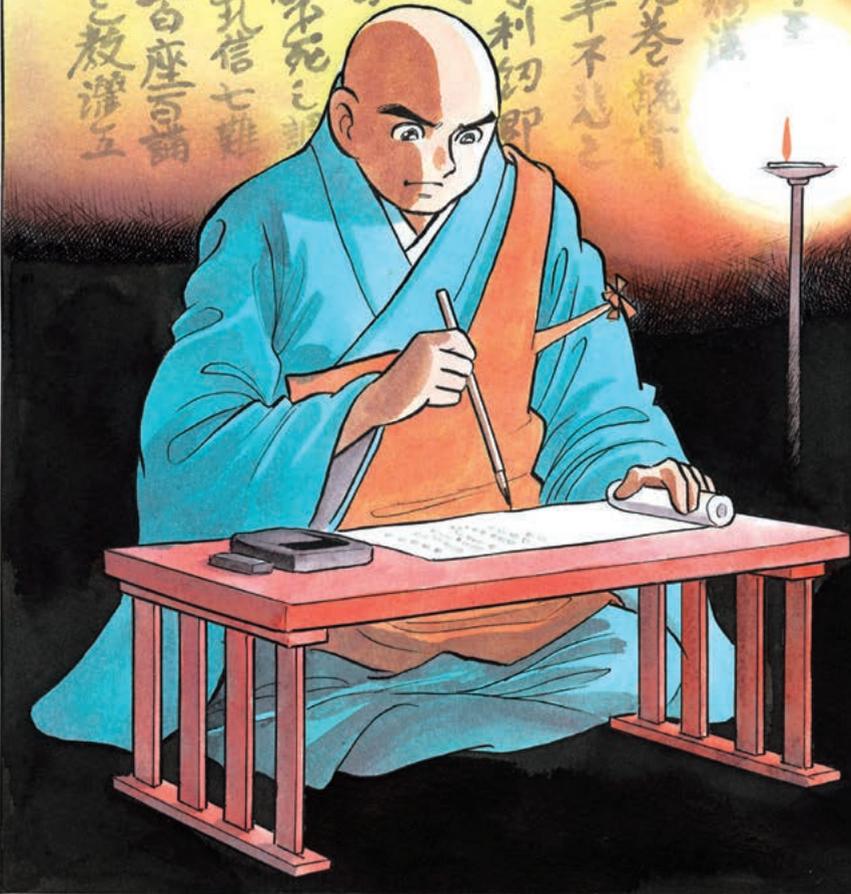
堂生具實之妙文孔信七難

即滅七種即生之句調百座百講

之儀有目秘密真言之教灌五

蓮さま

11 立正安国論



正嘉元年（一二五七）
月食 日食と相次ぐ天変に
人々は不安を抱いておりました

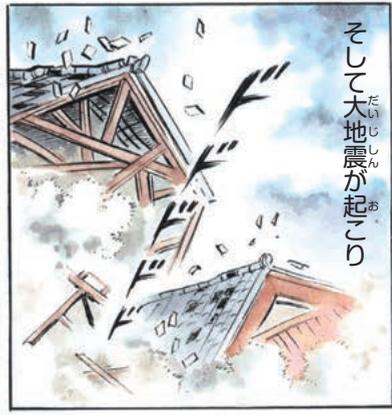
今宵の月ま
なんと不気味
なのだ…

お天道さまが
消えた

何かの凶兆に
ちげえねえ



そして大地震が起こり



さらに未曾有の大地震が
鎌倉を襲い
武家屋敷や町民の家も
一切が倒壊しました



日照りが続き



山は崩れ落ち
土石流が民家を押し流し
多くの死者が出ました

そんな中食糧が欠乏し
飢饉の長期化に伴い
多くの餓死者があふれ
屍は山のように
積み上げられました
さらに疫病が
蔓延し多くの人が
病死していきました



どんなに辛い
ことだろう

うう……

大震災 飢饉 疫病によって
多くの人が
大切な家族を失った



どうかこの子が
みほとけの世界に
生まれかわれますよう

南無妙法蓮華經
南無妙法蓮華經



まろばがやつ
松葉ヶ谷

お帰り
なさいませ

いかがでしたか
市中は？

まさに地獄で
ござった

やはり
そうでしたか



日昭どの

ほう



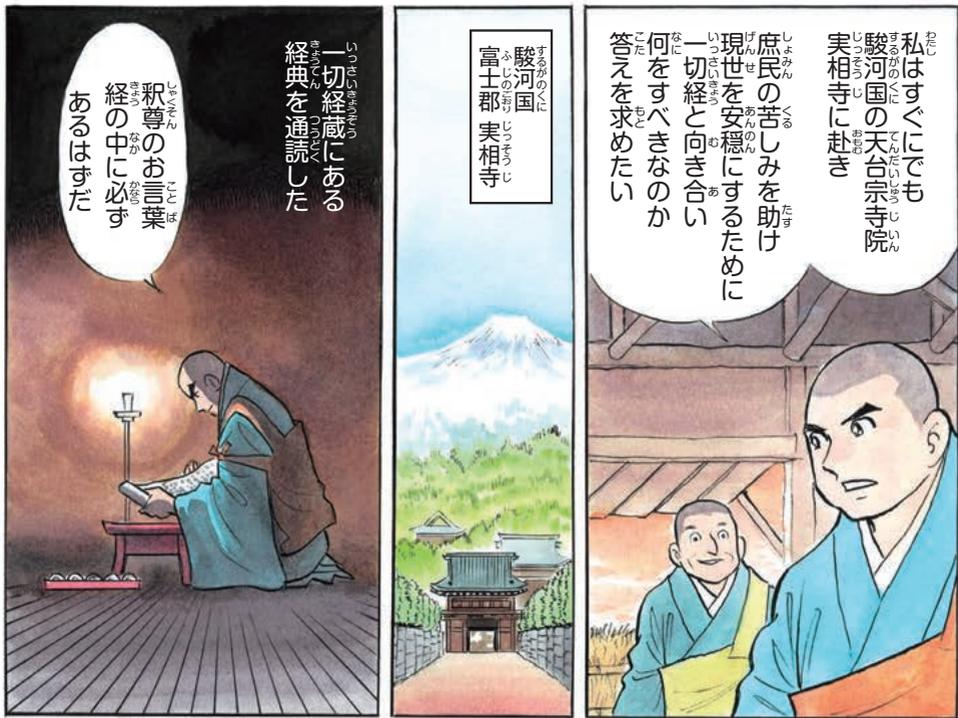
私はすぐにも
駿河国の天台宗寺院
実相寺に起き

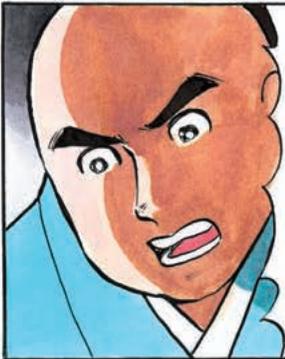
庶民の苦しみを助け
現世を安穩にするために
一切経と向き合い
何をすべきなのか
答えを求めたい

駿河国
富士郡
実相寺

一切経蔵にある
経典を通読した

積尊のお言葉
経の中に必ず
あるはずだ





日蝕 大地震 疫病
 飢饉 暴風雨 他国からの
 侵略 内乱 このうちまだ
 侵略と内乱は起こっていない



あった！



日蓮聖人は経文を通して
 いずれが真実の教えなのか
 どの教えに頼るべきなのか
 さらに今の世に
 災難が起こった
 原因と対策を
 明らかにしました



これを防ぐには
 正しい法に皆が帰依
 しなければならない
 法華経によって
 国を安らかに
 しなければならない

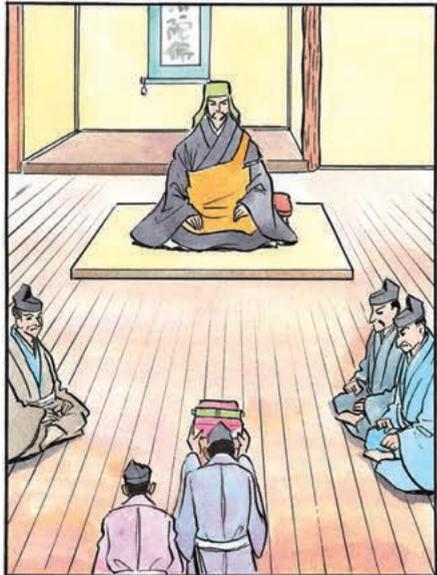
「立正安国論」とは
 正しい法によって
 世の人々の心を正して
 濁った国を浄化し
 万民の平安を成し遂げる
 というものでした

そして「立正安国論」を
 著したのです

やどやみづのり
宿屋光則の館

この書は
ひとえに世を思つて
したためたもの
どうかこれを北条時頼公に
お読みいただきたくお取り次ぎを
お願いしたいのです

こうして宿屋光則を
介して「立正安国論」は
先の執権北条時頼に
提出された



ほつしやうり
北条時頼



立正安国論
攘客東笑日自近
打ち続く天変地異は
まぢがった教えが
世に広まっているから
起るのである
牛馬
津既

我作病即消滅不
病悉除之願誦南
宗法華真實之如
釈尊の正しい教えである
法華経で国を建て直さ
なければ内乱と外国からの
侵略が起るだろう



いかがでしょう

災難は人の心が邪な
ことが原因で起る



人の心を立て直す
ことで現世の安穩は
実現される…
この点は異論ない



しかし念仏を
捨てるなど…
極楽寺を建立している
熱心な念仏者の重時さまが
許すはずなからう



日蓮の言う通り
念仏や禅を禁じ
その支援をやめれば
諸宗を保護する治政にも
大きな亀裂を生む！

確かに諸宗が
黙っていない
でしょう
いかが
いたしましょう



日蓮の主張はとも
受け入れられぬ
相手にすること
なからう

しかし
重時さまにはお伝え
しておかねばな



北条重時の館

北条時頼は
「立正安国論」を
無視することにしたが
この内容を知った
念仏者達の怒りは
収まりませんでした



北条重時

念仏が災難の
元凶とぬかすとは
まことに許し難い
雑言じゃ



つづく

立正安国論

度重なる天災に見舞われた時代、日蓮聖人はその原因を究明しようとして駿州（現在の静岡県）にある実相寺に向かい、一切経を読み直します。その上で、天災の根本原因は仏法の誤りにあると確信し、「安国論」の構想をまとめたのです。その後、松葉ヶ谷に戻った日蓮聖人は「立正安国論（正法を立てて安らかな国となさん）」を書き上げたのです。日蓮聖人39歳の時でした。

「立正安国論」は、旅人と宿屋の主人との問答を通して展開される構成になっています。宿に立ち寄った旅人が近年の天災を嘆き、宿屋の主人が数々の経典を引用しながら、「仏教がないがしるにされているから、神仏に見放され、災害が続いている」と述べます。当時は現世より死後の幸福に期待する「念仏」が信仰の主流でした。そして、念仏以外は軽視される風潮ができてしまっていました。それゆえ「正法である法華経によってこの現世を浄土とするべき」という考え方を説いていきます。

日蓮聖人はこの「立正安国論」を寺社奉行の宿屋光則に託し、北条時頼に取り次いでもらいます。当時の執権は北条長時でしたが、時頼は鎌倉幕府の黄金時代を築いた人物で、宗教にも関心があつたことから、日蓮聖人は時頼に期待して提出したので、しかし、さすがの時頼も素直に安国論を理解することができず、「立正安国論」は幕府に無視される形になってしまいました。

「立正安国論」は日蓮聖人が幕府を諷めたものであり、厳しい論調が全体にあふれていました。このため日蓮聖人はその後、数多くの攻撃や迫害を受けることになるのです。



立正安国論



お寺の本棚



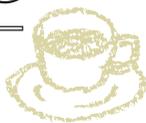
『村上先生御法話集(第二巻)』

貪・瞋・痴を防ぐコツ

お互いに堪忍をせねばならぬということは知っていても、おやみに堪忍せよ、ふくれ顔をするなど言うだけでは、堪忍を守り切ることは無理だと思えます。

すべて堪忍が破れるというのは、喜びが足らぬからです。感謝の念が欠けているからです。その喜びのないというのは、心が驕っているからです。人はあまりに身分不相応のことをこい願うために、遂に種々なる悪い心遣いをせねばならなくなってしまふのであります。それがすなわち慢心より生ずる心遣いです。

地位が上にある者は自己の責任は大きいのです。たとえば、今の目の前の仕事はみな、自分が必要なしなければならぬと心得たなれば初めて、部下の人がしてくださったことに対してこれは本来ならば休みを返上してでも私のなさなければならぬことなのに、成してくれてありがたいと思えるではありませんよう。





我が身に悪因はあれども、まず今日一日何不自由なく暮らしていける、さらに法華経を教えられ、実行できる身の上となったのは何とありがたいことか、と喜び勇んで暮らしたならば、決して腹立っている余裕はありません。

すべてが感謝をもって満たされます。〴〵自分は相当に働いているけれども、上役の者は認めてくれぬ。自分より働きのない者を昇給させていまいましい〴〵と思うは大変な悟り違いです。〴〵自分にはなおさらに研究をせよと天の試練である〴〵と喜んで、ますます忠実に業務に励んだならば必ず善き結果が得られるのに、天の試練を喜ばず、あまつさえ怒りをなすことは、最も熟慮を欠く者で、大きな悟り違いであります。

お互いに人間は、安楽に暮らし合わなければなりません。福といい鬼というも、すべてはお互いの心の持ちよう、悟りようによるものです。もし人から馬鹿者と言われても、よい見方をして喜びに代えれば必ず福の神が入って来られますし、怒れば鬼や貧乏神を抱え込むのであります。幸福を得たい方はどうか広く悟って、福の神を抱えて毎日喜びの日暮らしのできるよう修養に励んでください。

(昭和11年5月)

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (8)

無量義經 德行品第一

梵音雷震のごとく響八種あり

微妙清浄にして甚だ甚遠なり

四諦・六度・十二縁

衆生

の心業に随順して転じたもう

「梵音」は清らかな声。仏さまのご説法の尊さを改めて申されたものです。清浄な仏さまの御声は雷が鳴り響くようにすべての人々の間に広まって、その響には八種の特色があるということです。

「響八種」は、「八音」とも申しまして、次の八であります。

一、極好音。二、柔軟音。三、和適音。四、尊慧音。五、不女音。六、不誤音。七、深遠音。八、不竭音。「微妙清浄にして甚だ甚遠なり」〓仏さまのみ教えは非常に意味が深いものであり、世の中の迷いや穢れを全く離れ尽くし、永遠に後に遺るものであります。

仏法の入口・四諦の法と四苦八苦〓お釈迦さまが波羅奈・鹿野苑（初転法輪の地〓インド・ベナレス郊外のサルナート）において初めて五人の比丘に説法されたのが「四諦（四聖諦）の法」です。この四諦は仏法の入口ですが、ご一代の説法の骨子となっております。

一、苦諦。二、集諦。三、滅諦。四、道諦。

諦というのは、真実にして決して誤りがないという意です。

一、苦諦〓苦諦とは、人生には満足がないということを知ることです。

お釈迦さまは人生には「八苦」というものがあり、これはいかなる人でも免れ得ぬものであると言っておられます。

「生・老・病・死」の四つの苦悩を「四苦」と言います。

この四苦に「愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五陰盛苦」を加えれば八つの苦になります。

「愛別離苦」とは、自分の愛する人に別れなければならぬということ。

「怨憎会苦」とは、自分が厭わしいと思うことに出遇わなければならないこと。

「求不得苦」とは、自分の求める通りのことが得られないこと。

「五陰盛苦」とは、我々の身心一切の働きのことであります。

以上の八苦は人生に身を置いている限り、その人の地位身分のいかんにかかわらず共に免れ得ぬものです。では、すべての人がこれらの八苦に悩まされ、その心に少しの平和もない状態であったかと申しますと、お釈迦さまは申すに及ばず、その他にも常に平和安静に毎日を送った人も少なくありません。それは、要するに心の持ち方によるのであります。

周囲の変化によって動かされるか動かされないか、これは迷・悟の二つで、この別によって明らかになります。人生が苦しみで満ちていることを知ると同時に、自ら省みて我が心の煩惱に満たされたるあさましい状態を、深く考えなければなりません。

二、集諦Ⅱ我等凡夫の心は、煩惱が集まってできたものだということを徹底的に説いて、深い反省を促すのが集諦です。

楞伽経には「妄想自ら纏うこと蚕の繭を作るが如し」とありますが、誠に適切な諭えであります。凡夫

の心には、どれほど多くの煩惱があるのでしょうか。人が生きていくことは「共に生きていく」ということであります。それなのに人として生きていくこの本性を忘れ、小さい自己一身の利害得失のみを考え、これに囚われてしまうことによっていろいろな誤りを生じ、いろいろな苦しみを生むのであります。三、滅諦は苦しみのもとを滅することであり、凡夫の生活ばかりが人間の生活の全部ではありません。このあさましい状態を離れきって、平和安静に生活している人もあるのです。これが真の生き方でありましょう。

四、道諦は滅に到るべき道を教えられたものであります。苦を離れる道のことです。涅槃経の次の四句の偈は、殊に世間に知られています。それを説明しましょう。

〔諸行無常・是生滅法・生滅滅已・寂滅為樂〕

諸行無常は諸行とは、さまざまな現象のことです。私どもの目の前に現れる各種の現象は絶えず変化していきます。一つとして常住のものはないのです。

是生滅法は諸行のさまざまな現象が無常なのは、生滅の法なるが故である、ということです。あらゆる現象は生滅変化するのです。しかし、かく生滅変化するものより他に何も実在しないのかといえ、決してそうではありません。波は寄せたり返したりしますが、海の水その物に増減はほとんどありません。石炭を燃やせば灰となり、またその一部分は煙となって、石炭その物の元の姿は失われますが、灰となり、煙となつてやはり存在しているのです。物質には少しの増減もないのであります。ここで「無常」の中を一貫して「常住」の存することを知るべきであります。生滅変化する方向のみを見てこれに囚われてしまうから、さまざまに違った考えが起こってきます。変化していくところに文化・文明の向上、事業の繁栄が

あり、善根を積むことの意義がわかってくるのであります。

生滅已^レ生滅が滅し已れば、ということであります。生滅ということがなくなれば不生不滅であります。即ち「生滅変化に囚われず、不生不滅なものを囚え得れば」というのです。ここが迷悟の分かれ目です。生滅変化の方面のみを見ている者の一生は苦であります。そこに何等の平和も安定もありません。もし不生不滅なものを囚え得るならば、初めて苦を脱して樂を得べきであります。生滅変化を樂しみとすることが大切です。

寂滅為樂^レ寂滅を樂と為すというのであります。寂滅とは「涅槃」のことです。他のもののために影響を受けないということ、周囲がいかに変化してもさらにこれが為に動かされないことでもあります。こうなればその心に憂いもなく、悩みもないわけです。道を以って樂しみと為すことでもあります。社会に立つて大活動を為し得べき人は、このような人でなければなりません。

諸行無常の四句の偈をわかりやすく歌にしたものに、「いろは歌」があります。それを載せておきましょう。

色は匂へと散りぬるを（諸行無常）

我が世誰そ常ねならむ（是生滅法）

有為の奥山今日越えて（生滅滅已）

浅き夢見し酔ひもせず（寂滅為樂）

六度・菩薩の最重要実践徳目^二六波羅蜜^一。六波羅蜜は凡夫が仏に成る「菩薩修行」であります。日々、職場において、自分の住処において、常に行われなければならぬ修養徳目であります。

一、布施・檀波羅蜜。二、持戒・尸羅波羅蜜。三、忍辱・羼提波羅蜜。四、精進・毗梨耶波羅蜜。五、禪定・禪波羅蜜。六、智慧・般若波羅蜜。

度とは渡り渡す、ということ。波羅蜜とは、到彼岸、つまり、彼岸に極楽に到らせるということであります。

一、布施に施しの反対は慳貪。物惜しみをすることです。何でも自分を中心にして他人を思いやらない人は、他人より嫌われます。嫌われる人は物質的にも精神的にも富というものはありません。貧苦と困苦に責められ、自分の行いの悪いことを反省することもなく、他人を憎み、世を呪い、味気のない無意義な一生を送ってしまいます。そればかりか将来永遠に苦しむ、悪い種をまくことになるのであります。誠に損な生活であります。人という字は二本の棒が支え合った字です。お互いに助け合ってこそ楽しい世の中となります。この支え合い助け合う行いが布施であります。

布施は財施・無畏施・法施と三種に分けて考えることができます。

財 施に衣・食・住を施して相手を喜ばせること。

無畏施に精神的に慰め労わること。又、畏れることのない、充実した力を与えること。

法 施に一人でも多くの人に苦海を渡る教えを与え、自らも実行して仏さまのみ教えの尊さを知っていただくこと。

二、持戒に戒を持つことです。仏さまの定められた戒には、五戒・十戒・二百五十戒、さらに五百戒とも言われる戒もありますが、「自分は仏さまの子どもである。仏さまの子どもらしい行いをしよう」という自覚がなければだめです。又、仏さまのみ教えを聴聞し、行えば、戒の数を言わなくても自然に戒が持

てます。法華經に教えられてある真理の道を実践する人が、真の持戒者であります。

三、忍辱Ⅱ堪忍することです。よく腹立つ人、よく怒る人は好かれるでしょうか。決して好かれる人ではありません。まわりの人からはのけ者にされ、味方として力になる人をも敵としてしまうのであります。怒りの結果は家庭が不和となり、病氣や災難に遭うものになります。

四、精進Ⅱ精の字は混じり気なしという字で、進むというのは、目的地にまっしぐらに進むことであります。

反対に懈怠を生ずる人は怠け者のことのようにありますが、どんなに働いても、菩薩として、仏子としての大事な仕事をしないならば、懈怠の人であるのです。「自分は菩薩である。仏の子である。世の中の人を救い助けなければならぬ者である」という自覚を常に忘れないように、日々の業務を通じて仏子たる仕事を一大事としていかなければ懈怠の者となります。

五、禪定Ⅱ禪という字の語意は「静慮」と申します。「静かに考えること。自分の行いを反省し、仏さまのみ教えに照らし合わせて、その欠陥、足りない点を反省すること」であります。そしてその働きが「仏の働き」へと変化して、正しい行いになるようにするのです。これが禪定の意義です。反省して、次第に正しい善い行いに心を定め、「動かざること山の如く」、いかなる周囲の悪い影響を受けてもビクともしない、確固たる信念を養うことであります。

六、智慧Ⅱ世の中には、不平を思い、不満足の日暮らしをしている人は随分多いのであります。これらの人々は、凡智と言って「要領よく暮らそう」という、ただ自分だけのことしか考えない、哀れむべき人達であります。仏さまはこのような人達にも、「仏と同じ智慧を得させて、涅槃の樂を得させたい」と念じておられるのであります。

やぶしら仏教

お彼岸とは

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もあるように、お彼岸は一年の春と秋の2回あります。春は春分の日、秋は秋分の日をそれぞれ「お中日」といい、その後3日間をあわせた7日間がお彼岸の期間です。またそれぞれ最初の初日を「彼岸（の）入り」、最終日を「彼岸（の）明け」といいます。

ご先祖さまへの日頃の感謝を伝えるためにご供養を行い、仏さまの教えに従って一層努力する期間として位置づけられています。

定番のお供物は

春は牡丹の花にちなんでこしあんの牡丹餅、秋は萩の花にちなんでつぶあんの御萩をお供えます。小豆の赤い色には邪気を払い魔除けの効果があると信じられ、お彼岸の供物として普及しました。

秋には収穫したばかりの皮の柔らかい小豆をつぶあんにし、春には皮が固くなった小豆をこしあんにします。



お彼岸には

お寺の彼岸法要やお墓にお参りし、仏壇・仏具の掃除を行います。あわせて六波羅蜜という修養徳目を実践します。それにより此岸（煩惱と迷いの世界）にいる私達が、彼岸（悟りの世界）をめざすのです。

彼岸法要では、ご先祖さまへのご供養だけでなく、六波羅蜜を理解するためのご法話を聞くことをおすすめします。

六波羅蜜とは

仏教では「成仏＝悟りを開く」という目標のためにさまざまな修行を行いますが、

六波羅蜜は悟りに達するための基本的な六つの徳目のことをいいます。

- ① 布施 人々を親切にすること。
- ② 持戒 善い行いをして喜ぶこと。
- ③ 忍辱 無理を言われても堪忍して進むこと。
- ④ 精進 人の苦しみや悩みを助け救う、善い行いに努力すること。
- ⑤ 禅定 常に自分の行いを反省して、わがままにならぬようにすること。
- ⑥ 仏智 自分も人も共に楽しみ合って暮らす良い智慧を磨いて喜び合うようにすること。

『泰山院日進上人御遺訓集 おりにふれて』より



お彼岸Youtubeはこちらから！

六波羅蜜を実行することは法音寺・三徳を実行することです。

法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



**福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子どもの
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



ひろば

福祉の



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



幸せのお手伝い

（一期一会の仕合わせが
幸せを連れてくる）

自立のむずかしさを知った

K君との出会い

可愛らしい15歳の少年と出会って、9年が経ちました。この少年は、私が、前職場の自立援助ホームで出会ったK君です。

母親を亡くした彼は、本当に何も知らないまま自立援助ホームに入居しました。私は、初めて衝撃を受けたあの日を未だに覚えています。

K君の部屋に行くと、カーテンレールの上に人が横たわっているように順番に洗濯物が並べられていました。びっくりして笑いそうになりました

が、ハッと我に返り、この子は本当に何も知らないんだ」と気づきました。それと同時にこれから支援をしていくにあたり、非常に不安になったのを覚えています。

今まで多くの子どもと関わってきましたが、施設に入所する子ども達は世間で言うあたりまえを知らないことが非常に多いです。

特に自立援助ホームでは何年もの間、虐待などが明るみならず、身の回りのことが何もできないだけでなく、全くわからない状態で入居している子どもも多くいます。K君もその一人でした。そのため、洗濯や掃除、買い物の仕方などすべて

時間をかけて教えていきました。もっと早くに児童養護施設に入所していれば…」と思うことも度々ありました。

施設に入所している子どもは今までに叱られたり、ほめられたりした経験が少ない子どもも多く、精神面のケアも非常に大切になってきます。私が思い切りほめた時、固まってしまいリアクションが取れなかった子どももいました。

K君もこれまでに、叱られた経験が少ないことから、18歳のK君を職員が叱った際、涙を流して泣いてしまったことがあります。

施設に入所している子どもに「もう〇歳なんだから」は通用しません。年齢はただの数値でしかなく、その子に合った支援をしていかなければなりません。

しかし、社会に出れば年齢で判断されてしまっ

ことも多く、私にとってK君との出会いは「自立」のむずかしさを知るきっかけとなった特別な出会いでした。

そんな少年は現在、心も身体も大きくなって灼熱のサウナ室でタオルを振る仕事をしています。生き生きとした彼の姿を定期的に見たくなり、疲れると彼から元気をもらっています。私達の仕事は、結果はすぐに伴いませんが、一期一会の仕合わせがいつも幸せを連れてきてくれます。

児童養護施設 名古屋若松寮 保育士 村本 寛明



のぞみホーム一泊旅行「南知多に行こう！」



写真提供・昭徳会

障がい者支援施設 泰山寮 ～一年間頑張った自分へのご褒美旅～

ピリッと冷え込む1月下旬、のぞみホーム（障がい者グループホーム）の利用者さん4名と職員4名、計8名で女子旅を楽しんできました。行先を決める際、利用者さんに「今度の旅行はどこに行きたいですか？」とお聞きすると、「南知多ビーチランドがいい」と、昨年の旅行と同じ場所を希望されました。南知多ビーチランドのイルカとふれあったことがよほど楽しかったのでしょうか。「一年間頑張った自分へのご褒美旅行ですので、皆さんが行きたい場所に行きましょう」と、再び南知多に行ってきました。

初日はとても寒かったこともあり、施設のあるみよし市から南知多までゆっくりリドライブを楽しみました。雪をかぶった山々を見て、普段見ない景色に皆さん驚いていらっしやいました。やはり女子は花より団子。景色もそこにドライブ中は、昼食で寄る「まるは食堂」のエビフライの話題で持



ち切りでした。「こーんなに大きいんだって!」と期待が高まります。実際に運ばれてきたエビフライに皆さん目をキラキラ輝かせて喜ばれていました。

個室でゆっくりエビフライランチを堪能した後は、コンビニでおやつや飲み物を買ひ込み、早めに宿にチェックインしました。

今回お世話になった宿は、「ホテル魚半日吉苑」です。こちらにはなんと内海温泉という天然温泉のお風呂があります。皆さんグループホームではお一人で入浴されませんが、旅行や外出などでみんな一緒に大きな湯船に浸かるのも楽しみにされています。そのため、宿に到着した後と翌朝にもすっかり温泉を満喫されていました。食事も海の幸がたくさんで、皆さん、ビール片手にとてもおいしそうに召し上がっていました。

翌日は、お待ちかねの「南知多ビーチランド」です。ずっと楽しみにされてきたイルカとのふれあい。寒波で手が凍るほどの寒さも関係ありません。魚をイルカの口に入れるたび、にぎやかな声が響きます。今回はイルカだけではなく、アシカやアザラシにもタッチす

ることができました。皆さんマスクをつけていても隠しきれないほどの笑顔がはじけていました。

のぞみホームの利用者さん達は、同法人の特別養護老人ホーム安立荘や、障がい者支援施設泰山寮にて清掃等の仕事に行っています。そして昨年、利用者さん全員が、



勤続20年以上の非常勤職員に贈られる永年勤続特別褒章を鈴木正修理事長（法音寺山首上人）より授与されました。利用者さん達は、体調を崩さない限り、仕事を休むことはありません。本当によく頑張ってくださっています。年に1度の自分へのご褒美旅を皆さん、思いっきり楽しまれました。帰路の車内では、「来年はどこに行こうか」「やっぱり南知多ビーチランドかな」と来年の旅行話に盛り上がっていました。

障がい者支援施設 泰山寮

主任グループリーダー（サービス管理責任者） 白川 奈津美

日本福祉大学初！プロバスケットボール選手が誕生しました！

～日本福祉大学～



写真提供・日本福祉大学

本学の女子バスケットボール部に所属する遠藤真帆選手（スポーツ学部4年）が、Wリーグ（一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ）に所属する姫路イーグレッツに入団しました。大学ではチームのキャプテンを務め、ポジションはPF（パワーフォワード）として活躍し、チーム初のインカレ（全日本学生選手権・大学生のスポーツ競技全国大会）出場に貢献しました。第93回東海学生バスケットボールリーグ戦 女子1部リーグ（2022年9月3日～10月30日）では個人賞（優秀選手賞・リバウンド王）を獲得し、スピードを活かしたドライブとリバウンドが期待されます。遠藤選手は、アーリーエントリー（※）申請をしているため、大学卒業前の現在から既に姫路イーグレッツのメンバーとして登録されており、試合への出場が可能となっています。遠藤選手は静岡県沼津市出身。小学2年生の頃に友人に誘われたことをきっかけに、地元のミニバスケットボールチームでプレ

「一するようになりました。その後は市立沼津高等学校中等部、市立沼津高等学校に進学し、高校1年時には全国高校総体に出場するなど着実に実力をつけてきました。特別支援学校の教員をめざしていたことと、保健体育の教員免許の取得も希望していたことから本学に進学し、バスケットボール部でも活躍しました。姫路イーグレッツでは早速試合に出場し、「プロでは自分より大きい選手がいますが、得点を取れるように沢山リバウンドを取ってチームに貢献したいです。まだ今はあまり試合に出られていませんが、プロの世界で自分がどう生きていくかを考えて、いつかチームに貢献できる選手になれるよ



試合で活躍する遠藤選手



遠藤選手の高校時代

うに頑張ります」と語ってくれました。

Wリーグは現在、北は秋田、南は姫路に所在する合計14チームで構成されており、22-23シーズンは3月末まで試合が予定されています。

【姫路イーグレッツの今後の試合予定】

日程	対戦相手	会場
3/4 (土)・5 (日)	東京羽田	姫路市
3/11 (土)・12 (日)	日立ハイテク	尼崎市
3/18 (土)・19 (日)	三菱電機	上郡町

ぜひ応援をよろしく願います。

※アーリーエントリーとは、プロスポーツにおける選手契約システムのことで、このエントリーを行うことで、大学や高校等の卒業を待たずにチームに加入することができる仕組みのこと。

スポーツ・文化振興課 伊藤 立



姫路イーグレッツ

検索

幸せの種まき

人を喜ばせること自体が

ありがたいことなのです

まわりの人の喜ぶことをしていくと

心が広くなりますが

自分のことばかり考えていると

心は狭くなります

大乗山 法音寺

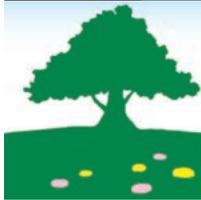
編集後記

多くの社会的弱者を救済された法音寺の始祖・杉山辰子先生は「人の喜びを自分の喜びとし、人の苦しみを自分のものとして受け止める。そしてそれに対して行動する時、一切の私利私欲をなくして行動せよ」とおっしゃったと伝えられています。

また以前、山首上人さまは「人間には二通りの生き方しかない。一つはすべてをあたりまえと思う生き方であり、もう一つは、すべてが奇跡のようにありがたいことだと思ふ生き方である」というアインシュタインの言葉を紹介された上で、「幸せとは、第一にすべてのことが、ありがたい」と感謝できる心の状態である」とお教えくださいました。

お二人のみ教えはそれぞれ別のことではなく、家庭や職場や地域で、相手の喜びや苦しみを自分のことのように受け止め、私利私欲なく親切を重ねることと、次第にすべてのことが、ありがたい」と感謝できる、仏さまと同じような人格が完成していくのだと思われまます。

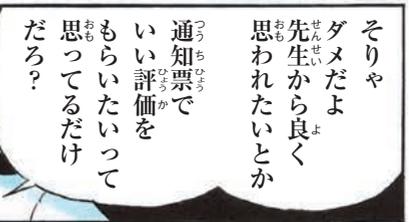
三月はお彼岸の季節。お寺では六波羅蜜の教えが説かれます。お互いに日々の生き方を見直していきたいものです。



大王さまとの約束

竹中 淳







閻魔さまに
自信を持って
私はこれだけの
徳を積みました！
って言えば
いいのよ



エンマさまのエンマ帳に
何をしたかみーんな
書いてあるんでしょ
よく知ってるね



大丈夫 ちゃんと
閻魔さまが…
エンマさま!?



地獄に落ちろ！
でしょ
ああもうやめて
お願い
夢に出て
来そうだから
もうやめて！



悪いことばかり
していたら
閻魔さまは

ちょっと
待って！



大人は
ずるいよ
おそろせ
子どもを教育
しようとする
んだから…



最近何か人に
喜んでもらえるような
ことをしたか
思い出そうとしたけど
なーんにも
思い浮かばない
思い出せるのは



夜のトイレ行くの
怖いから行つとこ



なぜか思い出したくも
ないような恥ずかしいことばかり

なんでもっと早く
起きてくれないの
遅刻じゃないか

何度もおこ
し度起したと
おもってんの

ムーの散歩は
蓮の仕事よ

友達と
約束が

ボクじゃないよ
前から落ちてた
もん

タケルが
悪いんだゾ

オレ何も
してねえよ



ボクは急に…



なんだか



給食が終わり
5時間目に入ると



怖い夢は
見なかったけど
よく眠れなかったな
ふぁーあ





閻魔大王さままだ何を言っておる



先生!?



南蓮 小学4年だな

そこに 跪け



あゝあの エンマ帳... 先生のと 同じだ...

黙らぬか!

うむむ...



委員長!

訳のわからんこと言うな 早くそこに 跪け



いいか たくさん良いことをして 徳を積んでも一つの 悪い行いですべての徳は 消えてなくなるのだからな

それではおまえの 裁定をください!



いつか職員室で 同じようなこと 先生に言われたな



この少ないポイントから するとおまえはずいぶん周りの人に 迷惑をかけておるな

たまには良いことも するが失敗も 多いな... あきらめも早すぎだ





授業中に
居眠りして
寝ぼけてる子
私初めてヨ

まったく...



南くん

ありがとうございます
大王さま



鬼よ
だれが

鬼わっ!



もう行ったわよ
今朝は早起きして
ムーの散歩も
していったのよ

行って来ます
蓮は？



翌朝



町内がきれいに
なるよ
ありがとうございます

おはよう
ございます

蓮くん
朝から
ゴミ拾い？

オレ達も
手伝おうぜ



おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjmovie](https://www.youtube.com/user/houonjmovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和5年3月号・No.641・令和5年3月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社